

20026

下肢 EVT による Innova Vision ガイドの有用性

【目的】当院では、年間 60 例の下肢 EVT をおこなっているが、完全閉塞 (CTO) の治療のとき石灰化以外に術者にとって目安となる情報が少なく治療が困難な場合がある。GE 社製 X 線血管装置 Innova IGS630 のアプリケーションである Innova Vision で予め撮影された MDCT の 3D 画像を用いて、血管及び病変像を術中の透視画像に重ね合わせ治療のガイドとして用いることで、術者に有用な情報を提供することが期待できる。【方法】X 線血管装置は GE 社製 Innova IGS630+Advantega Workstaion、CT は VCT を用いた。ファントームとしてランドファントームを用い、造影剤を満たした点滴ラインを血管に見立て、腸骨動脈領域の血管モデルを作成した。血管走行の違うモデルを 3 体作成し、それぞれに対して Innova Vision で fusion させ一致するか否か検討した。【結果】ファントーム実験では 3 体とも作成した疑似血管と fusion 画像が一致した。【結語】外腸骨動脈においては、走行に個人差があり、石灰化等の指標とともに Innova Vision ガイドは術者にとって指標の 1 つになると考えられる。